

# 業務用陸上無線通信の高度化等 に関する技術的条件

## ◎業務用陸上無線システム作業班検討状況

〔 ~150MHz/260MHz/400MHz帯  
業務用移動無線の周波数有効利用~ 〕

# ◎業務用陸上無線システム作業班の検討状況

## □第1回作業班 (H.25.6.28)

作業班の運営方針、アドホックグループの設置等について検討

## □第2回作業班 (H.25.8.27)

提案募集結果の報告及び提案者からのヒアリングを実施

## □第3回作業班 (H.25.10.11)

業務用移動無線システムの国内外のデジタル化状況について調査

## □第4回作業班 (H.25.10.30)

今後デジタル化を予定している無線システムについて関係者からのヒアリングの実施及び今後の検討の進め方について検討

## □第5回作業班 (H.25.11.27予定)

## ◎検討の進め方

- 業務用無線のデジタル化の現状
- アナログ無線システムを取り巻く状況
- 今後の業務用無線の動向
- 150MHz/260MHz/400MHz帯の周波数有効利用方策
- 今後のデジタル無線機器に必要な技術的条件(要件)

# 150/260/400MHz帯業務用移動無線の周波数有効利用

## 1. 概要

150/260/400MHz帯業務用移動無線は、自動車運送、警察、消防、防災行政、鉄道等の様々な分野で、音声通信、データ伝送等に活用されている。

特に150/400MHz帯は、音声中心のアナログ方式から、周波数の利用効率に優れ、データ伝送が容易で、情報セキュリティが向上する等の特長を持つデジタル方式への移行が進展しつつある。

業務用移動無線は、震災等を契機に、その重要性、活用方法等が見直されており、今後、通信需要の増大も考えられるところである。

以上のことから、デジタル化に当たっての課題、新たな周波数有効利用方策等を検討し、さらなる有効利用を図るための技術的条件について検討する。

## 2. 具体的な検討内容

### ① デジタル化に当たっての課題、移行促進等

- ア デジアナ混在時の共用・干渉低減策、効率的移行方法、機器の低廉化等
- イ デジタルの特徴を生かしたアプリケーション活用(音声通信→メッセージ通信等)
- ウ 他機関との相互通信(防災関係機関相互の通信確保等)

### ② 業務用移動無線の有効利用方策等

- ア 今後の需要、通信量等の動向
- イ システムのイメージ

150MHz/260MHz/400MHz帯  
陸上移動局、基地局等内訳  
合計:約115万局

